

変化は機会

予期せぬ失敗やギャップ
食い違いの発生、技術革新
や構造変化、価値観の変化
など、対応は経営者として
深刻な問題になるものでは
が、見方を変えればこれら
は機会として捕らえられる
ものです。
人から、成果をだすチャン

(有)西川経営オフィスサービス

中村会計

事務所便り

2012年5月1日 (火) NO. 248

地域から明るい未来を作ろう

スだとよく聞きます。
社会は創造と変革が凄まじ
い勢いで進み、情報の量も
質も世界的な変化
が起きています。

東洋のガラパゴス・華能なる新化

信を持つて、ここはアメリ
力をむしやぶり食べ尽くす
気概で新たな一步を歩み出
す。
元 (毛沢東) でなく、円

いま明治維新と
太平洋戦争に次ぐ
国家第三の分水嶺
といわれます。先
の便りNO222号
にも書きましたが
人は皆、見たい現
実を見るものです。
敗戦で日本の国
土が焦土と化した
19年後に、新幹線
の営業を開始しま
した。
政治に頼らず、
日本人を信じて確

(福沢諭吉)の絶対的チャ
ンスの局面でしょう。
国敗れて、今度は何
を見ましようか。

仕事は従前に増し
てスピードが要求さ
れます。
牛井チェーンで井が
注文して直ぐ出てく

現政権の国会議員で、二番で
はなぜダメなのでしょう。か有
名な女性議員がおいでです。早
口の話し方が癖、コンプレックス
が垣間見えるのは私だ
け?。

トップでないとは絶対に
見えてこない世界があります。
実力と運? 「金」と「銀」メダル
の差は紙一重です。しかし全く
次元が違います。
すべてについて言えます。



会社組織は存在自体が目
的でもないし永続で
もない。外部への貢
献が存在理由です。
しかし組織が成長す
るほど期待される本
来の任務と成果、正
しい戦略を忘れるこ
とが多い。

社会的に会社の存在理由
は外部の奉仕で存在する
という理由から、予期せぬ
も変化は機会といえます。

意志決定の知覚の焦点を
を外部に合わせることで、
変革の時代に問われます。

独りよがりで見聞違い?
の進化をした日本標準が、
世界標準に合わないだけで、
本場の「失敗」と言い切れ
ますか。
ゲームはこれから、第三回
戦です。まだまだ終わって
いません。

日本はこれからも生き方
を含め、世界の慣れをリ
ドできることに、何も変り
がありません。

トップと二番手

更なるトップになるのです。
突破者は人類の進歩発展に欠
かせません。
発言の何気ない一言は、平成
の詐欺師グループの馬脚を見
事に現しています。原発も民主
権力も騙すつもりがなければ責
任がない訳ですから、従順な民
集の下で安泰です。

トップの命を賭ける消費税演
説はたとえ話でしょう。覚悟と
言うことはタダです。
責任を取る腹黒の腹、盲腸で
も切るのでしよう。
日本は確実に、自民以上の
シッター街を超える廃墟に
なります。
トップは国民を
子供扱にし、なに
を見ているのでしよ
う。

